

# 財政と公共政策

第32巻第2号(通巻第48号) 2010年10月  
ISSN 1348-8805

**Public Finance  
and Public Policy**

# 『財政と公共政策』投稿規定

本誌は、財政と公共政策に関する幅広い領域の理論的・実証的研究の成果を公表し、相互交流を促すことによって財政学研究、および公共政策研究の更なる深化・発展に寄与していくことを目指しています。本誌の発行は財政学研究会を母体としていますが、上述の目的のために会員だけでなく広く非会員の方々からの本誌への投稿も歓迎します。

本誌への投稿論文は、財政学研究会内に設けられた『財政と公共政策』編集委員会によって受理され、編集委員会の選任した複数の査読者による審査の上、掲載を許可されたものが掲載されます。なお、投稿を希望される方は、以下の投稿規定に留意されるようお願い申し上げます。

## 投稿規程

### [本誌の扱う内容]

財政学（予算論、経費論、租税論、公債論、地方財政論、国際財政論、財政政策論、財政思想、財政史等）、国家・自治体論、地方自治論、ガバナンス論、規制緩和、民営化、公益事業論、公共政策論（環境政策、交通政策、国土政策、都市政策…）等関連領域。

### [投稿論文の受理]

投稿論文は随時受け付けています。到着した原稿から順次査読に入り、査読終了後に掲載が決定したものをから順番に、年2回発行（5月、10月）される本誌に掲載していくことにします。なお、投稿された論文は返却されません。

### [投稿論文の種別]

投稿論文には、研究論文（制限字数25,000字）、研究ノート（同15,000字）、展望論文（同20,000字）の区別があります。ただし、制限字数は全て図表込みの数字です。図表を用いる場合は1点を800字と計算し、5点までを上をの数字に含めることができます。また、総字数が上記の制限字数を超える場合、文章については1ページ（約1,700字）につき3000円、図表については1点につきその作成費用相当額だけ、投稿料が引き上げられますので、あらかじめご留意下さい。なお、抜き刷りにつきましてはご要望に添えかねますので、ご了承ください。

### [投稿料]

財政学研究会会員は無料、非会員は有職者の方が1万円、大学院生の方は5千円となります。

### [論文提出要領]

投稿を希望される方は、テキストファイル、Microsoft Word、一太郎いずれかによる文書ファイルを下記の投稿論文送付先に提出して下さい。なお、上記の文書ファイルではなくハードコピーにて投稿を希望される方は本研究会までお問い合わせ下さい。また、掲載が決定した場合には、テキストファイル、Microsoft Word、一太郎のいずれかによる文書ファイルを提出して頂くこととなりますので、あらかじめご留意下さい。図表をファイルとして提出する場合には、上記ワープロソフトで作成できるもの以外には、Microsoft Excel、Lotus1-2-3によって作成されたものおよびCSV（カンマ区切りテキスト）ファイルに限り、受領することが可能です。それ以外のものは、鮮明な印刷原稿、またはコピーをご用意下さい。なお、投稿論文には以下の内容を記載した表紙を添付して下さい。①論文タイトル②投稿者の氏名③連絡先（住所、電話・FAX番号、Eメールアドレス）④英文タイトル⑤英文氏名⑥内容要約（日本語、約200字）。

### [投稿論文送付先]

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院経済学研究科財政学（植田）研究室内  
Tel：075-753-7531（内線3454）  
Fax：075-753-3512

# 目 次

## 特 集

- 宮崎県綾町のまちづくり  
「住んでみたい町」へ綾町の挑戦 …………… 藤原 宏 志 … 2  
綾町のまちづくりの理論  
—綾町の政治経済制度と3層の循環の視点から— …… 入 谷 貴 夫 … 7  
綾町のこれまでのまちづくり …………… 宮崎県綾町役場 … 14  
自主自立を目指す綾町の財政状況 …………… 宮崎県綾町役場 … 19  
綾町の自然保護と照葉樹林プロジェクト …………… 宮崎県綾町役場 … 23  
綾町の観光・まちづくり …………… 宮崎県綾町役場 … 31  
綾町における環境保全型農業の取組み …………… 綾町有機農業開発センター … 41

## 特 集

- ミネルヴァ環境ガバナンス叢書書評論文集（上）  
森晶寿編著『東アジアの経済発展と環境政策』（ミネルヴァ書房，2009年）  
…………… 石 川 良 文 … 50  
室田武編著『グローバル時代のローカル・コモンズ』（ミネルヴァ書房，2009年）  
…………… 鳥 越 皓 之 … 56  
諸富徹編著『環境政策のポリシー・ミックス』（ミネルヴァ書房，2009年）  
…………… 金 子 林 太 郎 … 63  
浅野耕太編著『自然資本の保全と評価』を読む …………… 寺 西 俊 一 … 72

## 研究論文

- 開放型コモンズと閉鎖型コモンズにみる重層的資源管理  
—ノルウェーの万人権と国有地・集落有地・農家共有地コモンズを事例に—  
…………… 嶋 田 大 作・室 田 武 … 77

## 研究ノート

- 都市廃棄物管理のコスト情報とアカウントビリティ  
…………… 芳 賀 普 隆 … 92

## 書 評

- 森晶寿（著）『環境援助論—持続可能な発展目標実現の  
論理・戦略・評価』有斐閣 …………… 大 塚 健 司 …106  
森晶寿（著）『環境援助論—持続可能な発展目標実現の  
論理・戦略・評価』有斐閣 2009年 …………… 野 上 裕 生 …109  
森晶寿（著）『環境援助論—持続可能な発展目標実現の  
論理・戦略・評価』有斐閣 2009年 …………… 松 岡 俊 二 …112

## 学会動向

- 日本地方財政学会第18回大会 …………… 森 裕 之 …115  
日本公共政策学会2010年度研究大会 …………… 佐 野 亘 …117  
東アジア環境資源経済学会設立大会開催後記 …………… 森 晶 寿 …122



# 特集

## 宮崎県綾町のまちづくり

---

2009年夏、財政学研究会は、8月23日から25日という日程で宮崎県綾町を訪ねた。綾町は豊かな自然と魅力的なまちづくりで知られる。宮崎大学の入谷貴夫先生と藤原宏志先生にもご協力頂き、研究会一同でたいへんに勉強をさせていただいた。本特集では、両先生から綾町のまちづくりをテーマにご寄稿いただくと同時に、綾町役場の方々にまつづくりの現状をご報告いただく。

『財政と公共政策』編集委員会

---



# 特集

## ミネルヴァ環境ガバナンス叢書 書評論文集（上）

---

2009年から、ミネルヴァ書房よりミネルヴァ環境ガバナンス叢書が刊行されている。持続可能な発展のための重層的環境ガバナンスを共通の問題意識として、それぞれが「基礎理論」、「ポリシーミックス」、「民主主義」、「コモンズ」、「東アジア」、「温暖化防止」、「自然資本」、「都市地域」という個別のテーマを扱ったものである。本特集は全8巻についての書評論文集を掲載するもので、今回はその中から『東アジアの経済発展と環境政策』、『グローバル時代のローカル・コモンズ』、『環境政策のポリシー・ミックス』、『自然資本の保全と評価』の4冊を取り上げる。

『財政と公共政策』編集委員会

---

# 財政学研究会会則

## I 名称及び目的

本会は財政学研究会と称し、財政学、経済学、公共政策及び関連諸分野における共同研究、ならびに教育方法の研究をすすめることを目的とする。

## II 所在地

京都市左京区吉田本町京都大学経済学部内財政学（植田）研究室に本会事務局を置く。

## III 会員並びに入会規定

会員及び院生会員を定める。会員及び院生会員は所定の会費を納入し、本会の運営及び共同研究活動に参加する。会員及び院生会員の入会は、会員二名の推薦にもとづき総会においてこれを決定する。院生会員から会員への移行については別途定める。

## IV 会代表

本会代表一名を総会で選出する。会代表は総会の招集を行う。

## V 総会

少なくとも年一回は総会を開催し、年間共同研究計画の作成、入会者の決定、会計報告、運営委員の選出等を行う。また、会員の十分の一の要求があれば、臨時総会を開催することができる。

## VI 運営委員会

総会において運営委員若干名を選出し運営委員会を組織する。運営委員会は次の総会までの会務を執行し、必要に応じて事務局を置くことができる。

## VII 会費

会員より年間会費5,000円を徴収する。三ヵ年以上にわたり会費を納めないものは、原則として会員たる資格を失う。院生会員の会費については別途定める。会費の変更は総会が決定する。

## VIII 会計監査及び予算

総会は年間予算を決定し会計監査一名を選出する。会計監査委員は年一回会計監査を行う。

## IX 研究活動

本会は次の諸活動を行う。

- (1) 定例研究会及び合宿研究会
- (2) 専門別研究部会の設置、運営
- (3) 機関誌の編集、発行、普及
- (4) プロジェクト研究及び出版
- (5) その他

## X 『財政と公共政策』

1. 本会機関紙、『財政と公共政策』を年二回発行する。総会において編集委員会を設置し、編集委員会がその編集、発行を行う。編集委員会の規則は別途定める。
2. 定期購読者は実費（送料込）で『財政と公共政策』を購入する。

## XI 付則

本会に必要な改正は、総会において行う。

本会則は1979年4月28日付で発効する。

本会則は2006年8月28日に改正され、同日付で発効する。

## 『財政と公共政策』投稿規定

本誌は、財政と公共政策に関する幅広い領域の理論的・実証的研究の成果を公表し、相互交流を促すことによって財政学研究、および公共政策研究の更なる深化・発展に寄与していくことを目指しています。本誌の発行は財政学研究会を母体としていますが、上述の目的のために会員だけでなく広く非会員の方々からの本誌への投稿も歓迎します。

本誌への投稿論文は、財政学研究会内に設けられた『財政と公共政策』編集委員会によって受理され、編集委員会の選任した複数の査読者による審査の上、掲載を許可されたものが掲載されます。なお、投稿を希望される方は、以下の投稿規定に留意されるようお願い申し上げます。

### 投稿規程

#### [本誌の扱う内容]

財政学（予算論、経費論、租税論、公債論、地方財政論、国際財政論、財政政策論、財政思想、財政史等）、国家・自治体論、地方自治論、ガバナンス論、規制緩和、民営化、公益事業論、公共政策論（環境政策、交通政策、国土政策、都市政策…）等関連領域。

#### [投稿論文の受理]

投稿論文は随時受け付けています。到着した原稿から順次査読に入り、査読終了後に掲載が決定したもののから順番に、年2回発行（5月、10月）される本誌に掲載していくことにします。なお、投稿された論文は返却されません。

#### [投稿論文の種別]

投稿論文には、研究論文（制限字数25,000字）、研究ノート（同15,000字）、展望論文（同20,000字）の区別があります。ただし、制限字数は全て図表込みの数字です。図表を用いる場合は1点を800字と計算し、5点までを上の子数に含めることができます。また、総字数が上記の制限字数を超える場合、文章については1ページ（約1,700字）につき3000円、図表については1点につきその作成費用相当額だけ、投稿料が引き上げられますので、あらかじめご留意下さい。なお、抜き刷りにつきましてはご要望に添えかねますので、ご了承ください。

#### [投稿料]

財政学研究会会員は無料、非会員は有職者の方が1万円、大学院生の方は5千円となります。

#### [論文提出要領]

投稿を希望される方は、テキストファイル、Microsoft Word、一太郎いずれかによる文書ファイルを下記の投稿論文送付先に提出して下さい。なお、上記の文書ファイルではなくハードコピーにて投稿を希望される方は本研究会までお問い合わせ下さい。また、掲載が決定した場合には、テキストファイル、Microsoft Word、一太郎のいずれかによる文書ファイルを提出して頂くこととなりますので、あらかじめご留意下さい。図表をファイルとして提出する場合には、上記ワープロソフトで作成できるもの以外には、Microsoft Excel、Lotus1-2-3によって作成されたものおよびCSV（カンマ区切りテキスト）ファイルに限り、受領することが可能です。それ以外のものは、鮮明な印刷原稿、またはコピーをご用意下さい。なお、投稿論文には以下の内容を記載した表紙を添付して下さい。①論文タイトル②投稿者の氏名③連絡先（住所、電話・FAX番号、Eメールアドレス）④英文タイトル⑤英文氏名⑥内容要約（日本語、約200字）。

#### [投稿論文送付先]

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院経済学研究科財政学（植田）研究室内  
Tel：075-753-7531（内線3454）  
Fax：075-753-3512

# Public Finance and Public Policy

Vol. 32, No.2 10-2010

## Contents

- Special Lecture** Learning from the experience of Aya  
Hiroshi Fujiwara      Towards a Best Place to Live: Experience of Aya, Miyazaki  
Takao Iriya      A Theory of Community Development in Aya, Miyazaki  
Aya municipal officials      History of Community Development in Aya  
Aya municipal officials      Public Finance in Aya  
Aya municipal officials      Natural Environment in Aya  
Aya municipal officials      Eco-tourism in Aya  
Aya municipal officials      Environmentally Friendly Farming in Aya
- Review Essays** Minelva Environmental Governance Series  
Yoshifumi Ishikawa      Economic Development and Environmental Policy in East Asia  
Hiroyuki Torigoe      Local Commons in Globalization  
Rintaro Kaneko      Policy Mix in Environmental Policy  
Shun'ichi Teranishi      Preservation and Valuation of Natural Resources
- Original Paper**  
Daisaku Shimada and Takeshi Murota  
Multi-layered Natural Resources Management in Open and Closed Commons: A Case Study on the Right of Access and the Commons in Present-day Norway
- Research Note**  
Hiroataka Haga      Cost Information on Municipal Solid Waste Management and Accountability
- Book Review**  
Kenji Ohtsuka      A Theory of Environmental Aid  
Hiroki Nogami      A Theory of Environmental Aid  
Shunji Matsuoka      A Theory of Environmental Aid
- Research Trends**  
Hiroyuki Mori      The 18th Congress of Japanese Association of Local Finance  
Wataru Sano      The Congress of Public Policy Studies Association Japan 2010  
Akihisa Mori      Congress of East Asian Association of Environmental and Resource Economics

Edited by Society for the Studies in Public Finance (Kyoto, Japan)